



「全国国語科教育研究大会」(11月25日)が近づいてきました。

小郡小学校では、『話し合い』の活動を通して学びを創る、授業を創る』という研究を進めてきました。全国創造国語研究会と合同主催で、第50回全国国語科教育研究大会を本校会場に開催しその成果を公開する日がいよいよ近づいてきました。

この大会では、全国で活躍されている先生方7人、山口県の国語をリードされる先生方と本校校長の6人そして本校職員5名が授業を公開します。授業を公開する教師にも、授業に対する思いや初めて出会う子ども達にいろいろな思いをもっています。そんな教師一人ひとりの願いや思いの一端をご紹介しますと思います。

吉本 清久先生 6年3組

「松陰先生の教えを学び、自分の暮らしに活かそう」

吉本先生は、今年の2月に来校されて、生きた車えびを使って「詩」の授業を公開し指導してくださいました。その時「もしも全国大会で小郡小学校に招かれるならば、山口県の生んだ偉人『吉田松陰先生』で授業をしたい。」と話しておられ、まさにその願いが実現する運びになりました。



吉本先生プロフィール

現在、熊本県八代市立高田小学校教諭。「熊本 - 21世紀の国語教育を創る会」代表。1964年熊本県に生まれる。熊本大学教育学部卒業。平成元年より熊本県公立学校教諭。『言語行動観に立つ国語科教育』を实践し、全日本言語学会で論文発表。言語感覚を磨くモデル授業をはじめいろいろな領域テーマで全国大会等において公開されている。

長野 篤志先生 2年3組 「くらべてみよう！佐賀と山口の昔話」

今年の夏休み、「今度自分が授業する小郡小学校ってどんなところだろう。」と突然たずねていらっやいました。学校を案内しつつ、そのやさしい人柄に初対面とは思えませんでした。家族旅行の行程の中に組んでいただき、幼いお子さんと奥様ともお会いできました。小郡小学校での授業と子ども達との出会いが、とても楽しみですとお話されていた。先生は、佐賀県の各小学校に出向かれて指導されるばかりでなく、九州各地にも指導者としてお声がかかっていらっやいます。山口県だけでなく小郡の昔話にも大変興味をもたれたご様子でした。

長野先生の横顔
「最近、感動したことは何ですか」
我が子がハイハイするようになったこと！
「ストレス解消法は？」
吉野ヶ里温泉へ行く
「お弁当の好きなメニューは？」
唐揚げ

山本 敦子先生 3年1組 「聴いて！聴いて！私の大好きな一首！！」
山本先生からは、3年1組の子ども達に手紙がとどきました。

お手紙の内容に担任の河野教諭は感動していました。

小郡小学校、三年一組のみなさんはじめまして。私は、新潟県の新潟市の上所小学校の「山本(やまもと)敦子(あつこ)」と言います。縁があつて、このたび、みなさんと国語の学習をさせていただくことになりました。よろしくおねがいします。

まず、なぜ、私が、みなさんと国語の学習をすることにしたのかお話しします。

みなさんは「中越地震」というのを知っていますか？

私は、実は、「中越地震」の時に、この研究会で国語の授業をすることをやくそくしていましたが、この地震はとても大きな地震で、その時、私の学校は、被災した方の避難所になっていました。つまり、学校をお休みして避難してきた方々が寝泊まりするところにしてたわけです。私の学級の子どもも、体育館に一ヶ月以上寝泊まりしている子どももいましたし、家が半壊になり転校していた子どももいました。私は、とてもこの状態の自分の学校をおいて、国語の授業をしに行くことができませんでした。

そして、今年、ふたたび、私のところに、この国語の授業をするお話がきました。ちょうど、三月十一日に、未曾有の「東北地震」がありました。この、また、大きな地震があったのは、山口で授業をするので、新潟からだれかがお礼に行かなくてはとも思いました。今年、昨年、山口から先生方が来てくださつて、新潟で授業をしてくださいました。今年、ですから、私は、みなさんと、国語の学習をすることを決めました。

新潟から小郡は、とても遠いです。中略(二十五日当日)しかみなさんにお目にかかることができません。ごめんなさい。

その分、心をこめて、みなさんに「短歌を好きになつてもらつ」学習を創りました。担任の河野先生にその思いと学習の仕方を託しますので、私に会うまで、河野先生と一生けん命学習してください。

地震の話をしました。私の学級にも、福島から避難してきた子どもがいます。日本中が悲しい思いをしました。今もしています。みなさんと河野先生と私とで創る学習で、小郡小学校に来る先生方を元気にして、その先生たちが学級に帰つて担任している子どもたちを元気にして、そつやつ、私たちがする授業が少しでも、みんなの未来を明るくするようにしたいと考えます。一緒に歩いてください。

では、みなさんに会うことを心から楽しみにしています。

山本 敦子

上田 保明 校長先生 1年2組

「おもしろさをてがみでつたえよう。『たぬきの糸車』

上田校長先生は、最初は東京の公立小学校の教諭として教員生活の第一歩を歩まれ、今年度で定年退職を迎えられます。山口県に帰省後、油谷町、徳地町の小学校に勤務、山口大学教育学部附属山口小学校に勤務とともに山口県下の国語を支える立場となりました。その後、教育行政職も歴任され、校長として四校を勤務しその責務を果たされるとともに、その間も国語に対する情熱はいささかも変わることなく、本年最後の年に、思い出深い「たぬきの糸車」で授業されることになりました。



(校長室暗唱の様子)

1年生の児童は、「校長先生と授業をしたよ。」ときっと大喜びだと思います。そして、上田校長は、いままでの「言葉による教育」の集大成として、強く思いがこもった授業となることでしょう。

その他多くの先生方が心を込めて授業を公開されます。今は、その準備にかかりきりになっています。また、保護者の皆様には大会に開催につきまして、ご尽力ご協力いただいておりますことを心から感謝しております。立派な子ども達の姿を全国、県下の皆さんに見ていただきたいと思っています。